

琉球大学学術リポジトリ

米国管理下の南西諸島状況雑件 要人往来（総務長官等閣僚訪沖）(2)

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-01-22 キーワード (Ja): 床次総務庁長官, ランパート米国高等弁務官, 中曽根防衛庁長官, ランパート米国高等弁務官 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43237

沖繩現地紙報道


秘密表示(赤印)

部数指示	発信用	執務用	備考
主 信	1	1	2
付 信			
送 信			

発送日 昭和45年10月19日
 発信 971 タイフ 検査

文書課長 (印) 公 信 案 (分類)

公信番号 米北1 第 235 号 公信日付 昭和 45年 10月 19日

大 臣	主 管	起案 昭和 45年 10 月 16 日
政務次官	アメリカ局長	 起案者 446
事務次官	参事官	
外務審議官	北米第一課長	
外務審議官		
官 房 長		

協議先

受信者 長官 防衛庁官房長

発信者 アメリカ局長

穿送付先 (希望発送日)

件 名 中曾根長官の沖縄訪問新聞記事の送付
 について

GA-8 外務省 19 38 回覧番号

別添資料は10月17日 防外参事官室 青柳氏へ交付

* 秘密標準 (赤色)

米北1 第 235 号
 昭和45年10月19日

防衛庁長官官房長 敬

外務省アメリカ局長

(件名) 中曾根長官の沖縄訪問新聞記事の送付について

引用公・電信 日付・番号

沖縄復帰準備委員会日本政府代表より、
 先般の中曾根防衛庁長官の沖縄訪問に関する
 現地新聞記事切抜きを送付越したの
 に、右記事切抜き写しを、ご参考におき別添の
 とおりに送付します。

* 付属添付 付属空便 (行) 付属空便 (DP) 付属船便 (貨) 付属船便 (郵)

(※印は文書課記入)

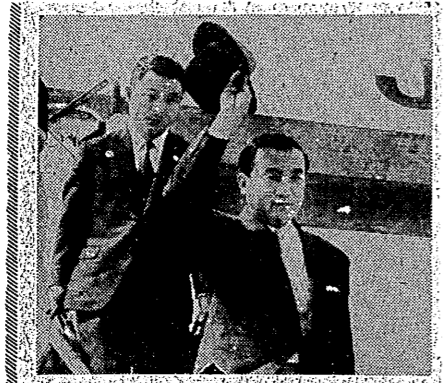
緊迫の中、中曽根長官来沖

自衛隊常駐に備え 軍施設の実情を掌握

軍施設の実情を掌握

中曽根防衛庁長官は七日午後、臨時大政経申の自衛隊を来沖した。中曽根防衛庁長官は七日午後、臨時大政経申の自衛隊を来沖した。中曽根防衛庁長官は七日午後、臨時大政経申の自衛隊を来沖した。

この日の午後、中曽根防衛庁長官は七日午後、臨時大政経申の自衛隊を来沖した。中曽根防衛庁長官は七日午後、臨時大政経申の自衛隊を来沖した。



那覇空港に着いた中曽根長官

八日、九時那覇基地機降機で十七時五分、那覇大空襲機降機で十七時十五分、那覇大空襲機降機で十七時十五分、那覇大空襲機降機で十七時十五分。

中曽根防衛庁長官は七日午後、臨時大政経申の自衛隊を来沖した。中曽根防衛庁長官は七日午後、臨時大政経申の自衛隊を来沖した。中曽根防衛庁長官は七日午後、臨時大政経申の自衛隊を来沖した。

(6)

10.7. 沖繩タイムズ

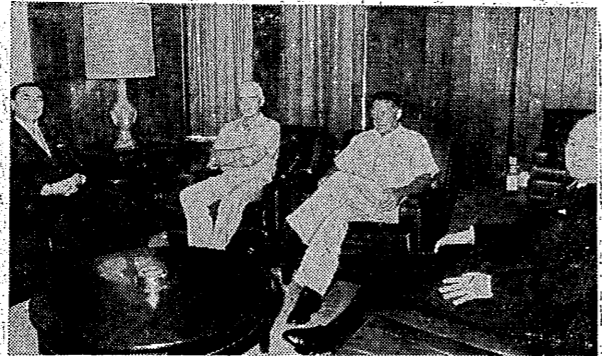
警備本部を設置

警備本部は中曽根防衛庁長の来沖と、中曽根防衛庁長の来沖後、警備本部を設置する。警備本部は中曽根防衛庁長の来沖と、中曽根防衛庁長の来沖後、警備本部を設置する。

行動隊動員で左翼に対決 日思会は歓迎集会

六日午後、日合親善委員会(山形市前野町の同本部に設けられ、日合親善委員会は七日日中親善防衛隊各連隊から、日合親善委員会は七日日中親善防衛隊各連隊から、日合親善委員会は七日日中親善防衛隊各連隊から。

(5)



中曽根防衛庁長官（右）と米軍司令部の幹部らが会談している様子。左から中曽根防衛庁長官、高橋大佐、米軍司令部の幹部ら。

中曽根長官

基地空から視察

井務官を表 敬あいさつ きよりら主席と会談

七日午後、大田田の日、中曽根長官は、米軍司令部を訪れ、高橋大佐（スウェーデンの高等弁務官室）と会談した。高橋大佐は、中曽根長官に、米軍司令部の現状や、日米関係の改善について話した。中曽根長官は、高橋大佐の話を聞き、米軍司令部の現状や、日米関係の改善について話した。高橋大佐は、中曽根長官に、米軍司令部の現状や、日米関係の改善について話した。中曽根長官は、高橋大佐の話を聞き、米軍司令部の現状や、日米関係の改善について話した。

七日午後、大田田の日、中曽根長官は、米軍司令部を訪れ、高橋大佐（スウェーデンの高等弁務官室）と会談した。高橋大佐は、中曽根長官に、米軍司令部の現状や、日米関係の改善について話した。中曽根長官は、高橋大佐の話を聞き、米軍司令部の現状や、日米関係の改善について話した。

七日午後、大田田の日、中曽根長官は、米軍司令部を訪れ、高橋大佐（スウェーデンの高等弁務官室）と会談した。高橋大佐は、中曽根長官に、米軍司令部の現状や、日米関係の改善について話した。中曽根長官は、高橋大佐の話を聞き、米軍司令部の現状や、日米関係の改善について話した。

警備に五百人

警備に五百人 民主団体に、選挙クルブを、警察が監視している。選挙クルブは、選挙のたびに、民主団体の活動が活発化している。警察は、選挙クルブの活動を監視している。選挙クルブは、選挙のたびに、民主団体の活動が活発化している。警察は、選挙クルブの活動を監視している。

ターミナルで衝突

旅行者は右往左往

空路ターミナルで、旅行者と保安官が衝突した。旅行者は、保安官の監視を嫌う。保安官は、旅行者の行動を監視している。旅行者は、保安官の監視を嫌う。保安官は、旅行者の行動を監視している。

旅行者は、保安官の監視を嫌う。保安官は、旅行者の行動を監視している。旅行者は、保安官の監視を嫌う。保安官は、旅行者の行動を監視している。

10.8. 沖縄タイムス

第3種郵便物認可

沖縄タイムス

沖縄上陸、たった5分間

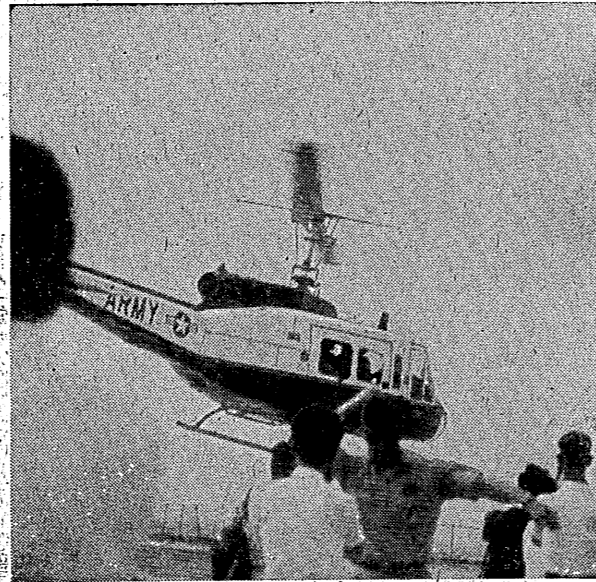
那覇空港の
中曽根長官



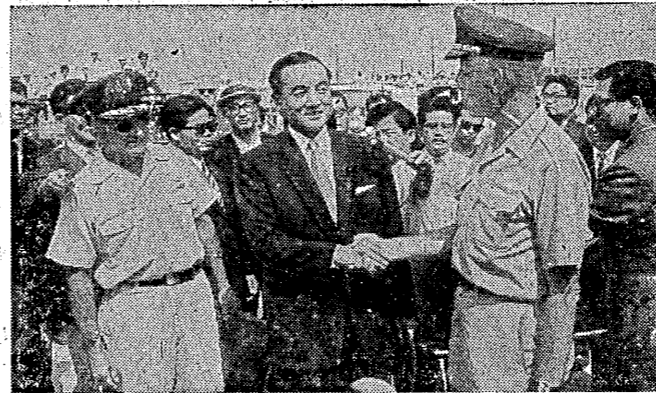
↑ 三つ巴 送迎デッキには抗議（右側）と歓迎（左側）の横断幕がずらり、日の丸をつけた黒いヘルメット、赤旗を押したる白いヘルメット、それを警備する機動隊の戦闘帽—

(12)

10.A. 沖縄タイムス



▲
ヘリで 那覇空港についた長官は五分間そこで米軍さし回しのヘリで米軍関係者と上空へ。まことにタフ、かつ敏速な行動だった



▲ 握手 報道陣にかこまれて出迎えるラ高等非務官(右)と握手する中曽根長官、その左がグラハム駐日米軍司令官

県民無視、すぐ帰れ

加盟団体が独自で意思表示

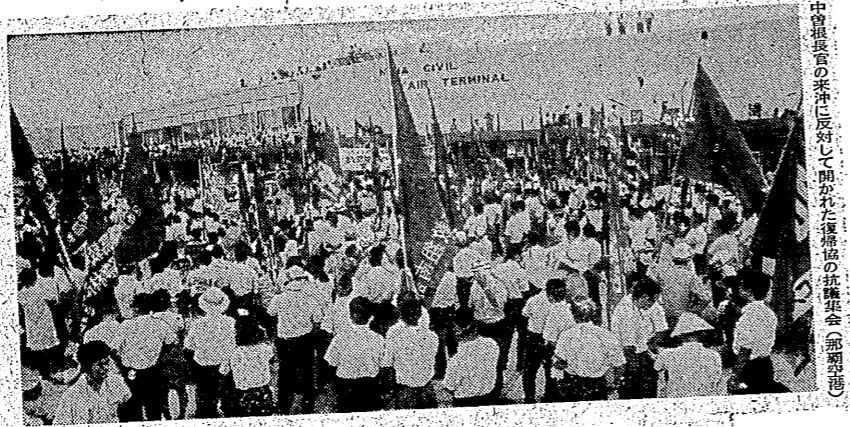
中曾根防衛庁長官の米沖に反対して七日琉球海軍に抗議した加盟団体は、同日午後五時四十分、県民無視の防衛長米沖に抗議し、即時退去を要求する「開」を演じた。この演説で加盟団体は「長官の米沖に抗議するが、われわれは米沖を去る。八日は各地の基地、加盟団体自身に長官の即時退去の意思を示す。また琉球海軍委員会が加盟して七年後、五官との命令日付が定まると示して、われわれは意見を述べた。

那覇空港の抗議集会を終えた。会を開いた。この日種々種々、三千人動員されたが、防衛長米沖の要求する即時退去を要求する。同日午後五時四十分、県民無視の防衛長米沖に抗議し、即時退去を要求する「開」を演じた。

体独自長官の米沖に抗議した加盟団体は、同日午後五時四十分、県民無視の防衛長米沖に抗議し、即時退去を要求する。同日午後五時四十分、県民無視の防衛長米沖に抗議し、即時退去を要求する「開」を演じた。

加盟団体は、同日午後五時四十分、県民無視の防衛長米沖に抗議し、即時退去を要求する。同日午後五時四十分、県民無視の防衛長米沖に抗議し、即時退去を要求する「開」を演じた。

加盟団体は、同日午後五時四十分、県民無視の防衛長米沖に抗議し、即時退去を要求する。同日午後五時四十分、県民無視の防衛長米沖に抗議し、即時退去を要求する「開」を演じた。



中曾根長官の米沖に反対して開かれた復旧協会の抗議集会(那覇空港)

自衛隊は来るな

基地内で米兵が反戦新聞

七〇年代の米沖を離れ、米兵の反戦新聞「自由の叫び」が七日、基地内で米兵に配布された。この新聞は、米兵の反戦意識を高め、米兵の反戦意識を高める。米兵の反戦意識を高める。米兵の反戦意識を高める。



基地内で米兵に配布された反戦新聞「自由の叫び」が七日、基地内で米兵に配布された。この新聞は、米兵の反戦意識を高め、米兵の反戦意識を高める。米兵の反戦意識を高める。米兵の反戦意識を高める。

基地内で米兵に配布された反戦新聞「自由の叫び」が七日、基地内で米兵に配布された。この新聞は、米兵の反戦意識を高め、米兵の反戦意識を高める。米兵の反戦意識を高める。米兵の反戦意識を高める。

怒りこめ会見とわる

復旧協

中曾根防衛庁長官の米沖に反対して開かれた復旧協会の抗議集会(那覇空港)

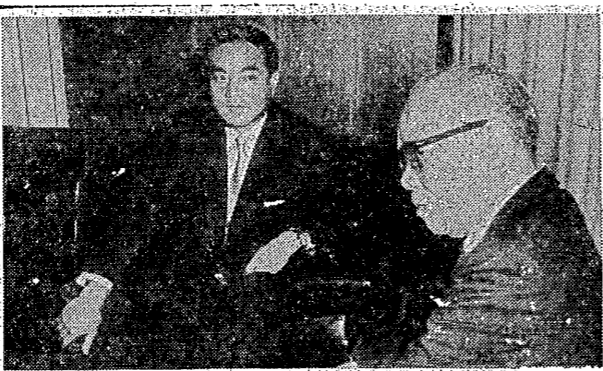
10.A. 沖繩タイムズ

色彩豊か」と笑う
抗議団の赤旗に「へっ」

自衛隊駐留反対の抗議団が、沖縄県庁前（中）で赤旗を掲げ、抗議活動を行った。抗議団のリーダーは、赤旗の色彩が豊かだと笑った。抗議団は、自衛隊の駐留を反対し、基地の撤去を要求している。抗議活動は、自衛隊の駐留反対の抗議団が、沖縄県庁前（中）で赤旗を掲げ、抗議活動を行った。抗議団のリーダーは、赤旗の色彩が豊かだと笑った。抗議団は、自衛隊の駐留を反対し、基地の撤去を要求している。

自衛隊駐留反対の決意表明

自衛隊駐留反対の抗議団が、沖縄県庁前（中）で決意表明を行った。抗議団のリーダーは、自衛隊の駐留を反対し、基地の撤去を要求している。抗議活動は、自衛隊の駐留反対の抗議団が、沖縄県庁前（中）で決意表明を行った。抗議団のリーダーは、自衛隊の駐留を反対し、基地の撤去を要求している。



中曽根防衛庁長官(左)に自衛隊配備問題などを要請する屋良主席(右) (復帰準備委員会)

“自衛隊に理解を”

屋良戦争への不安強調

中 曾 根

自衛隊に理解を、屋良戦争への不安強調。自衛隊の駐留は、沖縄の平和と安定を脅かす。屋良氏は、自衛隊の駐留を反対し、基地の撤去を要求している。自衛隊の駐留は、沖縄の平和と安定を脅かす。屋良氏は、自衛隊の駐留を反対し、基地の撤去を要求している。

10.A. 沖繩タイムズ (9)

自衛隊の駐留は、沖縄の平和と安定を脅かす。屋良氏は、自衛隊の駐留を反対し、基地の撤去を要求している。自衛隊の駐留は、沖縄の平和と安定を脅かす。屋良氏は、自衛隊の駐留を反対し、基地の撤去を要求している。

(17)

(16)

抗議団また肩すかし

中曽根長官と屋良主席の会見



中曽根・屋良会談に激しく抗議する抗議団

10.8. 沖繩タイムズ (A)

119

中 護 警 の しい 物 の 物 の 物

中曾根長官 高姿勢の32時間



中曾根長官が花輪をささげる

抗議行動を無視

自衛隊強調して去る

【自衛隊が沖縄に展開するの反対を叫ぶ抗議行動は、連日中曾根防衛庁長官は、八日午後六時、自衛隊前部の那覇海軍基地の記者会見で、自衛隊の展開は自衛隊の任務であるとして、抗議行動を無視する姿勢を示した。自衛隊は、自衛隊の任務であるとして、抗議行動を無視する姿勢を示した。自衛隊は、自衛隊の任務であるとして、抗議行動を無視する姿勢を示した。

中曾根防衛庁長官は、八日午後六時、自衛隊前部の那覇海軍基地の記者会見で、自衛隊の展開は自衛隊の任務であるとして、抗議行動を無視する姿勢を示した。自衛隊は、自衛隊の任務であるとして、抗議行動を無視する姿勢を示した。自衛隊は、自衛隊の任務であるとして、抗議行動を無視する姿勢を示した。

摩文仁丘に花輪

【中曾根防衛庁長官は、八日午後四時、自衛隊前部の那覇海軍基地の記者会見で、自衛隊の展開は自衛隊の任務であるとして、抗議行動を無視する姿勢を示した。自衛隊は、自衛隊の任務であるとして、抗議行動を無視する姿勢を示した。自衛隊は、自衛隊の任務であるとして、抗議行動を無視する姿勢を示した。

中曾根防衛庁長官は、八日午後四時、自衛隊前部の那覇海軍基地の記者会見で、自衛隊の展開は自衛隊の任務であるとして、抗議行動を無視する姿勢を示した。自衛隊は、自衛隊の任務であるとして、抗議行動を無視する姿勢を示した。自衛隊は、自衛隊の任務であるとして、抗議行動を無視する姿勢を示した。

大急ぎで場所変更

長官「沖縄はおとなしいネ」

【中曾根防衛庁長官は、八日午前十一時十分、自衛隊前部の那覇海軍基地の記者会見で、自衛隊の展開は自衛隊の任務であるとして、抗議行動を無視する姿勢を示した。自衛隊は、自衛隊の任務であるとして、抗議行動を無視する姿勢を示した。自衛隊は、自衛隊の任務であるとして、抗議行動を無視する姿勢を示した。

中曾根防衛庁長官は、八日午前十一時十分、自衛隊前部の那覇海軍基地の記者会見で、自衛隊の展開は自衛隊の任務であるとして、抗議行動を無視する姿勢を示した。自衛隊は、自衛隊の任務であるとして、抗議行動を無視する姿勢を示した。自衛隊は、自衛隊の任務であるとして、抗議行動を無視する姿勢を示した。

抗議団にケガ人 機動隊が実力で排除

【抗議団のメンバーは、八日午後六時、自衛隊前部の那覇海軍基地の記者会見で、自衛隊の展開は自衛隊の任務であるとして、抗議行動を無視する姿勢を示した。自衛隊は、自衛隊の任務であるとして、抗議行動を無視する姿勢を示した。自衛隊は、自衛隊の任務であるとして、抗議行動を無視する姿勢を示した。

抗議団のメンバーは、八日午後六時、自衛隊前部の那覇海軍基地の記者会見で、自衛隊の展開は自衛隊の任務であるとして、抗議行動を無視する姿勢を示した。自衛隊は、自衛隊の任務であるとして、抗議行動を無視する姿勢を示した。自衛隊は、自衛隊の任務であるとして、抗議行動を無視する姿勢を示した。

防衛施設局を設置

返還後の沖縄に



中曾根防衛庁長官(右)記者会見中。左から、防衛施設局長(中)、防衛施設局副局長(左)。

予算53億円を要求

施設接收関係職員も派遣

中曾根長官帰る

【本紙記者東京九日電】防衛庁長官の中曾根康弘は、九日午後七時、防衛庁の官舎で記者会見を行った。中曾根長官は、防衛施設局の設置と、施設接收関係職員の派遣について、記者の質問に答えた。

中曾根長官は、防衛施設局の設置について、「防衛施設局は、防衛施設の接收、管理、維持、補修、改良、増設、撤去、廃止、その他防衛施設の管理に関する業務を掌理する機関として設置される。防衛施設局の設置は、防衛施設の接收と密接な関係があるため、防衛施設の接收が完了した時点で、防衛施設局を設置する必要がある」と述べた。

また、防衛施設局の予算について、「防衛施設局の設置に必要とする予算は、五十三億円を要求している。これは、防衛施設の接收、管理、維持、補修、改良、増設、撤去、廃止、その他防衛施設の管理に関する業務に必要とする予算である」と述べた。

さらに、防衛施設局の職員派遣について、「防衛施設局の設置に伴って、防衛施設の接收、管理、維持、補修、改良、増設、撤去、廃止、その他防衛施設の管理に関する業務に必要とする職員を派遣する必要がある」と述べた。

中曾根長官は、防衛施設局の設置について、「防衛施設局は、防衛施設の接收、管理、維持、補修、改良、増設、撤去、廃止、その他防衛施設の管理に関する業務を掌理する機関として設置される。防衛施設局の設置は、防衛施設の接收と密接な関係があるため、防衛施設の接收が完了した時点で、防衛施設局を設置する必要がある」と述べた。

また、防衛施設局の予算について、「防衛施設局の設置に必要とする予算は、五十三億円を要求している。これは、防衛施設の接收、管理、維持、補修、改良、増設、撤去、廃止、その他防衛施設の管理に関する業務に必要とする予算である」と述べた。

さらに、防衛施設局の職員派遣について、「防衛施設局の設置に伴って、防衛施設の接收、管理、維持、補修、改良、増設、撤去、廃止、その他防衛施設の管理に関する業務に必要とする職員を派遣する必要がある」と述べた。

不安の裏返し

革新団体、冷ややかな態度

【本紙記者東京九日電】革新団体の代表者らは、防衛施設局の設置について、冷ややかな態度を示している。革新団体の代表者らは、防衛施設局の設置が、防衛施設の接收と密接な関係があるため、防衛施設の接收が完了した時点で、防衛施設局を設置する必要があると述べた。

また、革新団体の代表者らは、防衛施設局の設置に伴って、防衛施設の接收、管理、維持、補修、改良、増設、撤去、廃止、その他防衛施設の管理に関する業務に必要とする職員を派遣する必要があると述べた。

さらに、革新団体の代表者らは、防衛施設局の設置が、防衛施設の接收と密接な関係があるため、防衛施設の接收が完了した時点で、防衛施設局を設置する必要があると述べた。

【本紙記者東京九日電】防衛施設局の設置について、革新団体の代表者らは、冷ややかな態度を示している。革新団体の代表者らは、防衛施設局の設置が、防衛施設の接收と密接な関係があるため、防衛施設の接收が完了した時点で、防衛施設局を設置する必要があると述べた。

また、革新団体の代表者らは、防衛施設局の設置に伴って、防衛施設の接收、管理、維持、補修、改良、増設、撤去、廃止、その他防衛施設の管理に関する業務に必要とする職員を派遣する必要があると述べた。

さらに、革新団体の代表者らは、防衛施設局の設置が、防衛施設の接收と密接な関係があるため、防衛施設の接收が完了した時点で、防衛施設局を設置する必要があると述べた。

記者の目

防衛施設局の設置について、革新団体の代表者らは、冷ややかな態度を示している。革新団体の代表者らは、防衛施設局の設置が、防衛施設の接收と密接な関係があるため、防衛施設の接收が完了した時点で、防衛施設局を設置する必要があると述べた。

また、革新団体の代表者らは、防衛施設局の設置に伴って、防衛施設の接收、管理、維持、補修、改良、増設、撤去、廃止、その他防衛施設の管理に関する業務に必要とする職員を派遣する必要があると述べた。

さらに、革新団体の代表者らは、防衛施設局の設置が、防衛施設の接收と密接な関係があるため、防衛施設の接收が完了した時点で、防衛施設局を設置する必要があると述べた。

終始自衛隊PRの長官

防衛施設局の設置について、革新団体の代表者らは、冷ややかな態度を示している。革新団体の代表者らは、防衛施設局の設置が、防衛施設の接收と密接な関係があるため、防衛施設の接收が完了した時点で、防衛施設局を設置する必要があると述べた。

また、革新団体の代表者らは、防衛施設局の設置に伴って、防衛施設の接收、管理、維持、補修、改良、増設、撤去、廃止、その他防衛施設の管理に関する業務に必要とする職員を派遣する必要があると述べた。

さらに、革新団体の代表者らは、防衛施設局の設置が、防衛施設の接收と密接な関係があるため、防衛施設の接收が完了した時点で、防衛施設局を設置する必要があると述べた。

10.9. 沖縄タイムズ(夕)

**沖縄県民の
空気は良好**

中曽根長官、閣議に報告
九日の閣議は午前十時三十分から
同四十分まで開かれた。鳩山内
閣の内閣相が欠席。
中曽根防衛長官が沖縄防衛
の結果について「一般の沖縄県
民の空気は良好である」として
報告した。(共同)

10.10. 沖縄タイムズ

○中曽根防衛長官は閣議「山中がまたなげき」の是非を
「山中がまたなげき」の是非を
「山中がまたなげき」の是非を

記者の目撃
山中長官は閣議で「山中がまたなげき」の是非を
「山中がまたなげき」の是非を
「山中がまたなげき」の是非を

記者の目撃
山中長官は閣議で「山中がまたなげき」の是非を
「山中がまたなげき」の是非を
「山中がまたなげき」の是非を

記者の目撃
山中長官は閣議で「山中がまたなげき」の是非を
「山中がまたなげき」の是非を
「山中がまたなげき」の是非を

社説 的中した住民の疑惑

その正体と中曽根長官の来沖

中曽根防衛長官は七日来沖... 四次に防衛計画の概略... 住民の疑念は、中曽根長官の来沖... 防衛計画の正体... 中曽根長官の来沖... 防衛計画の正体... 中曽根長官の来沖... 防衛計画の正体...

琉球新報

創刊77年 琉球新報社 那覇市下泉町2の8 (3)1131番 電話代表(4)1101番 私書函那覇中野第15号

新開院 宮里小児科 医師 宮里義弘 那覇市前町の二五二番地受審室 電話④六五七九

中曽根長官来沖

防衛計画で意見交換

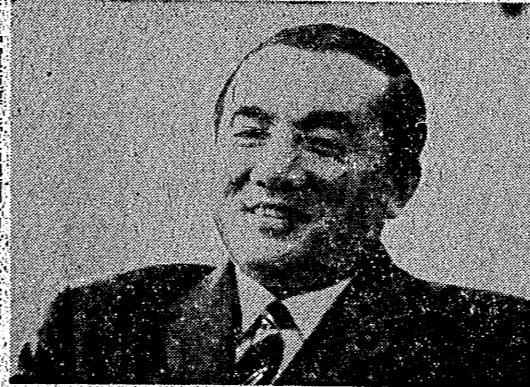
【本報】中曽根防衛長官は七日那覇に到着... 防衛計画の概略... 中曽根長官の来沖... 防衛計画の正体... 中曽根長官の来沖... 防衛計画の正体...

中曽根防衛長官 来きよの日程 午後一時那覇空港に午後一時三十分那覇市役所... 午後六時半セントラルホテル・サン・サロウ...

訪沖に反対

社説、中曽根長官に申し入れ 社説の理由... 防衛計画の正体... 中曽根長官の来沖... 防衛計画の正体...

本誌を中心に約千人の手紙が本誌編集局に届いた。その大半は、中曽根長官の来沖に反対するものである。(五回)



中曽根防衛大臣は神奈川訪問を前に、本社記者と
被倉見訪問の直前、防衛計画官米倉用地の記者会見
など。

軍用地の一括契約示唆

本社記者と単体会見

返還時に基地統合

防衛計画を主席に説明

【東京】中曽根防衛大臣は日米防衛協力を官として、神奈川を訪問するが、六日午後、時たま約半時間、本社記者と単体会見をして、神奈川の自衛隊、神奈川防衛計画官米倉用地の見直しについて明らかにした。その中で中曽根防衛大臣は、現在、神奈川防衛計画官米倉用地の見直しについて、地手と個別契約が「一括契約が問題だ」というが、現在、地手と一括契約方式で進んでいると述べ、「一括契約を暗示」した。

その間、防衛計画官米倉用地の見直しについて、地手と個別契約が「一括契約が問題だ」というが、現在、地手と一括契約方式で進んでいると述べ、「一括契約を暗示」した。また、防衛計画官米倉用地の見直しについて、地手と個別契約が「一括契約が問題だ」というが、現在、地手と一括契約方式で進んでいると述べ、「一括契約を暗示」した。

10.7

中曾根長官の来沖に抗議する 民主翼「日の丸」でアピール

中曾根長官の来沖

二千人を動員 民主翼「日の丸」でアピール

中曾根防衛庁長官は七日午後、那覇市に到着するが、同長官を迎える体制は「歓迎」「抗議」阻止の三派に分けられ複雑な形だ。来沖に反対する民主翼、厚水防衛教育会、県労協各民主団体は約二千人を那覇周辺に動員、抗議行動を起こすほか、琉球大学学生自治会を中心とする各派学生団体も約五百五十人を出し、来沖阻止の強硬な考え、一方教団側は右連盟の日本旗原の凡と民主団体の派放が対立、中曾根長官を伴う大団体の来沖を阻止する。

ピラ四万枚も配る

六尾前十一師 行動を阻止する。このほか、中曾根防衛庁長官の来沖の意思を断固として四万枚を印刷、全島に配布する。高野組、から野委員を擁護する。高野組は中曾根長官の来沖の意思を断固として四万枚を印刷、全島に配布する。高野組は中曾根長官の来沖の意思を断固として四万枚を印刷、全島に配布する。高野組は中曾根長官の来沖の意思を断固として四万枚を印刷、全島に配布する。



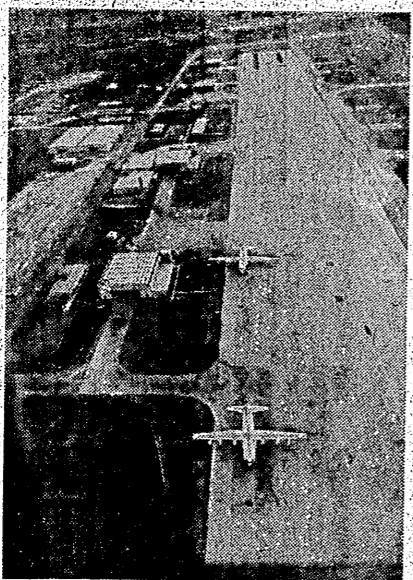
中曾根防衛庁長官の来沖に抗議する立て看板を書き復帰協の職員

自衛隊の配置に反対

【本紙記者】自衛隊の配置に反対する市民の要求が、中曽根防衛長官に強く反映されている。防衛省は、自衛隊の配置に反対する市民の要求を、中曽根防衛長官に強く反映している。防衛省は、自衛隊の配置に反対する市民の要求を、中曽根防衛長官に強く反映している。

県民世論が許さぬ 中曽根長官に申し入れへ

【本紙記者】自衛隊の配置に反対する市民の要求が、中曽根防衛長官に強く反映されている。防衛省は、自衛隊の配置に反対する市民の要求を、中曽根防衛長官に強く反映している。



返還要求をすることになった普天間飛行場

長官に抗議決議文を手渡す

【本紙記者】自衛隊の配置に反対する市民の要求が、中曽根防衛長官に強く反映されている。防衛省は、自衛隊の配置に反対する市民の要求を、中曽根防衛長官に強く反映している。

出迎え人も大幅に制限

【本紙記者】自衛隊の配置に反対する市民の要求が、中曽根防衛長官に強く反映されている。防衛省は、自衛隊の配置に反対する市民の要求を、中曽根防衛長官に強く反映している。

長官の身辺警備に重点

【本紙記者】自衛隊の配置に反対する市民の要求が、中曽根防衛長官に強く反映されている。防衛省は、自衛隊の配置に反対する市民の要求を、中曽根防衛長官に強く反映している。

革マル、中核デモへ

【本紙記者】自衛隊の配置に反対する市民の要求が、中曽根防衛長官に強く反映されている。防衛省は、自衛隊の配置に反対する市民の要求を、中曽根防衛長官に強く反映している。

航空海上防衛力に重点

中普視長官の単独見解

【東京二十七日電】中普視長官は、二十七日の記者会見で、本誌記者の単独インタビューに、中普視の目的、今後の防衛計画、航空海上防衛力の重点について、現況を説明した。本誌は、中普視の目的、今後の防衛計画、航空海上防衛力の重点について、現況を説明した。本誌は、中普視の目的、今後の防衛計画、航空海上防衛力の重点について、現況を説明した。

治安維持で後方支援

大切な民生と基地の調和

【東京二十七日電】中普視長官は、二十七日の記者会見で、治安維持と民生の調和について、重要な見解を示した。中普視は、治安維持と民生の調和を重視し、後方支援を強化する方針を示した。中普視は、治安維持と民生の調和を重視し、後方支援を強化する方針を示した。

中普視長官は、二十七日の記者会見で、治安維持と民生の調和について、重要な見解を示した。中普視は、治安維持と民生の調和を重視し、後方支援を強化する方針を示した。中普視は、治安維持と民生の調和を重視し、後方支援を強化する方針を示した。

記者席

○中普視長官の記者会見
中普視長官は、二十七日の記者会見で、今後の防衛計画、航空海上防衛力の重点について、現況を説明した。中普視は、治安維持と民生の調和を重視し、後方支援を強化する方針を示した。

金口木舌

中普視長官は、二十七日の記者会見で、今後の防衛計画、航空海上防衛力の重点について、現況を説明した。中普視は、治安維持と民生の調和を重視し、後方支援を強化する方針を示した。

中普視長官は、二十七日の記者会見で、今後の防衛計画、航空海上防衛力の重点について、現況を説明した。中普視は、治安維持と民生の調和を重視し、後方支援を強化する方針を示した。

10.7 琉球新報

那覇空港 緊迫



空港内にはいろいろとした「阻止団」それをはばもうとする日思会が激しくもみ合った

到着した石川防衛局長は、併せての東京、シバト、私がら果敢としたは、米
空軍で次の方、スエーデン、高等弁務官は、クリー民、制と親善を築、阻害を招き、
を誘致して、
政府との相互信頼を、日本、もくして、米の沖田、
【スエーデン】派、国際代表のほか、日皇主、に在り日本交遊を口頭に行な
本日、シバト、
在日米軍司令、
官の代表、
防衛長官がスエーデン、
り、当道に参り、本、空軍元の方、もあつて、期待、さう、努力、
日、明記、か、び、中、編、の、食、防、官、交、接、し、並、池、の、風、情、を、把、
係、施、設、を、親、しく、視、察、し、た、し、こ、し、間、あ、つ、て、い、て、い、た、こ、の、日、思、会、に、
れ、か、の、防、衛、官、の、来、た、事、に、防、衛、長、官、に、対、し、て、存、じ、
して、こ、の、日、思、会、に、
す。

10.7. 琉球新報(夕)

(35)

空港の警備体制に抗議

右翼の暴力傍観

復帰協が警察本部長らに

復帰協の当山島支部代表十人、七日午後八時半、新垣署警察本部を訪問し、同日朝野新聞で行われた右翼暴徒の暴行に対する抗議行動に賛同する警察本部の警備体制に抗議した。

復帰協代表として、同日午後八時半、新垣署警察本部を訪問し、同日朝野新聞で行われた右翼暴徒の暴行に対する抗議行動に賛同する警察本部の警備体制に抗議した。

三光
局長主席(後)の席に
復帰協の代表が並び、
抗議行動について話し
合っている。



反戦平和の声聞け

政府前きよう抗議集会

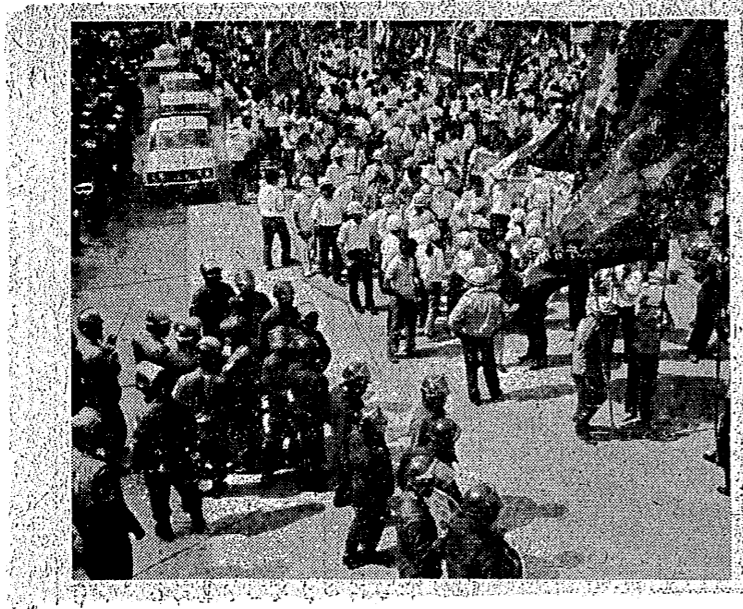
「日米共同防衛協定」の締結をめぐり、沖縄県民、民衆の叫びの中で、七日午後一時三十分、中曽根首相官邸前、米沖二丁目(旧)の基地前で行われた抗議集会が始まった。参加者は、抗議行動をめぐり、中曽根首相官邸前、米沖二丁目(旧)の基地前で行われた抗議集会が始まった。

中曽根首相官邸前、米沖二丁目(旧)の基地前で行われた抗議集会が始まった。参加者は、抗議行動をめぐり、中曽根首相官邸前、米沖二丁目(旧)の基地前で行われた抗議集会が始まった。

明復
協復
協復

中曽根首相は臨時退任を 増根長官は臨時退任を

10. 琉球新報



▲ 空港ビル前の中曾根阻止で集まった民主団体と学生

10. 琉球新報



▲ 学生と日思会員が衝突、双方に軽いケガ人を出した



中曾根長官来沖の波紋

▲ ペリフェラで那覇空港から米陸軍司令部に向かう中曾根長官一行

記者席

〇七日、防衛、中道長官は記者席に出席し、軍備縮減の意向を示した。記者席に出席して、中道長官は記者席に出席し、軍備縮減の意向を示した。記者席に出席して、中道長官は記者席に出席し、軍備縮減の意向を示した。記者席に出席して、中道長官は記者席に出席し、軍備縮減の意向を示した。

〇七日、防衛、中道長官は記者席に出席し、軍備縮減の意向を示した。記者席に出席して、中道長官は記者席に出席し、軍備縮減の意向を示した。記者席に出席して、中道長官は記者席に出席し、軍備縮減の意向を示した。記者席に出席して、中道長官は記者席に出席し、軍備縮減の意向を示した。

米軍ヘースの来沖風景

〇七日、防衛、中道長官は記者席に出席し、軍備縮減の意向を示した。記者席に出席して、中道長官は記者席に出席し、軍備縮減の意向を示した。記者席に出席して、中道長官は記者席に出席し、軍備縮減の意向を示した。記者席に出席して、中道長官は記者席に出席し、軍備縮減の意向を示した。

沖縄防衛力の規模発表 防衛庁

陸上など三千二百人

防衛費五十二億円を要求

防衛庁は七日、大蔵省に防衛費五十二億円の要求書を提出した。防衛費五十二億円の要求書を提出した。防衛費五十二億円の要求書を提出した。防衛費五十二億円の要求書を提出した。

防衛費五十二億円の要求書を提出した。防衛費五十二億円の要求書を提出した。防衛費五十二億円の要求書を提出した。防衛費五十二億円の要求書を提出した。



（中央）と会談する中韓協防衛司令官
（右はグラハム総五空軍司令官）

自衛隊配置など協議

中曾根長官、弁務官らと会談

シラハム港自衛隊司令部の招待で、昨日午後二時半、日機で来朝した中曾根防衛庁長官は、那覇基地に到着後、米軍のハリソン大佐で編成の軍司令部へ向かい、午後二時から同司令部でグラハム司令官、ランバート高等弁務官、田代官と在沖米軍の協力を協議し、七時半後、米軍から自衛隊への移管問題、自衛隊の沖地配置など重要問題について協議した。また、中曾根長官は、このあと、午後四時半から那覇基地を視察した。

この日の会談の前、那覇基地としての那覇の役割や在沖米軍基地と本土との近隣協同の關係等は、米軍司令部の側面から説明を受けた。在沖米軍の監視、統制問題などについても話し合ったものとされるが、話し合いの内容に関しては明らかにされていない。なお、同会談には、那覇基地司令部日本政府代表（大佐）も出席した。

自衛隊で協力要請

主席は反対表明へ

自衛隊の協力要請は、自衛隊の沖縄問題の解決を促すため、自衛隊司令部は7日午後一時半、日米両政府の承認を得た。自衛隊防衛長官は同日午後、ワシントンで自衛隊と在米米軍の協力を要請する旨の話し合いを終った後、東京に帰国した。中曾根防衛長官は同日午前、那覇基地を視察した後、日政府防衛長官と防衛省幹部との間で自衛隊の沖縄配備問題について話し合った。中曾根防衛長官は同日午前、日政府防衛長官と防衛省幹部との間で自衛隊の沖縄配備問題について話し合った。中曾根防衛長官は同日午前、日政府防衛長官と防衛省幹部との間で自衛隊の沖縄配備問題について話し合った。

毒ガス撤去も訴える

自衛隊の沖縄配備は必要だが、毒ガスの撤去も訴える。自衛隊防衛長官は同日午前、日政府防衛長官と防衛省幹部との間で自衛隊の沖縄配備問題について話し合った。中曾根防衛長官は同日午前、日政府防衛長官と防衛省幹部との間で自衛隊の沖縄配備問題について話し合った。中曾根防衛長官は同日午前、日政府防衛長官と防衛省幹部との間で自衛隊の沖縄配備問題について話し合った。



防衛大臣 中曾根

談会良根・曾中

中曾根防衛長官は防衛長官として初めて、自衛隊の沖縄配備問題について、米軍首脳と対話した。中曾根防衛長官は同日午前、日政府防衛長官と防衛省幹部との間で自衛隊の沖縄配備問題について話し合った。中曾根防衛長官は同日午前、日政府防衛長官と防衛省幹部との間で自衛隊の沖縄配備問題について話し合った。中曾根防衛長官は同日午前、日政府防衛長官と防衛省幹部との間で自衛隊の沖縄配備問題について話し合った。

10.8 琉球新報

(47)

自衛隊の沖縄配備には反対

主席、中曾根長官と会談

シラハ、公日本河合の招待で、中曾根防衛大臣は、八日午前四時四十分、那覇市天願町の自衛隊司令部で、慶長主席と会談した。会談の際、中曾根防衛大臣は、自衛隊の沖縄配備に反対した。中曾根防衛大臣は、自衛隊の沖縄配備に反対した。中曾根防衛大臣は、自衛隊の沖縄配備に反対した。

中曾根防衛大臣は、自衛隊の沖縄配備に反対した。中曾根防衛大臣は、自衛隊の沖縄配備に反対した。中曾根防衛大臣は、自衛隊の沖縄配備に反対した。

中曾根防衛大臣は、自衛隊の沖縄配備に反対した。中曾根防衛大臣は、自衛隊の沖縄配備に反対した。中曾根防衛大臣は、自衛隊の沖縄配備に反対した。

中曾根防衛大臣は、自衛隊の沖縄配備に反対した。中曾根防衛大臣は、自衛隊の沖縄配備に反対した。中曾根防衛大臣は、自衛隊の沖縄配備に反対した。

中曾根防衛大臣は、自衛隊の沖縄配備に反対した。中曾根防衛大臣は、自衛隊の沖縄配備に反対した。中曾根防衛大臣は、自衛隊の沖縄配備に反対した。

中曾根防衛大臣は、自衛隊の沖縄配備に反対した。中曾根防衛大臣は、自衛隊の沖縄配備に反対した。中曾根防衛大臣は、自衛隊の沖縄配備に反対した。

中曾根防衛大臣は、自衛隊の沖縄配備に反対した。中曾根防衛大臣は、自衛隊の沖縄配備に反対した。中曾根防衛大臣は、自衛隊の沖縄配備に反対した。



中曾根長官と会談する慶長主席(左)記者、復備準備室

自衛隊は軍隊でない

中曾根 主席の配備反対に釈明

慶長主席は中曾根防衛大臣と会談した。中曾根防衛大臣は、自衛隊の沖縄配備に反対した。中曾根防衛大臣は、自衛隊の沖縄配備に反対した。

中曾根防衛大臣は、自衛隊の沖縄配備に反対した。中曾根防衛大臣は、自衛隊の沖縄配備に反対した。中曾根防衛大臣は、自衛隊の沖縄配備に反対した。

中曾根防衛大臣は、自衛隊の沖縄配備に反対した。中曾根防衛大臣は、自衛隊の沖縄配備に反対した。中曾根防衛大臣は、自衛隊の沖縄配備に反対した。

中曾根防衛大臣は、自衛隊の沖縄配備に反対した。中曾根防衛大臣は、自衛隊の沖縄配備に反対した。中曾根防衛大臣は、自衛隊の沖縄配備に反対した。

中曾根防衛大臣は、自衛隊の沖縄配備に反対した。中曾根防衛大臣は、自衛隊の沖縄配備に反対した。中曾根防衛大臣は、自衛隊の沖縄配備に反対した。

中曾根防衛大臣は、自衛隊の沖縄配備に反対した。中曾根防衛大臣は、自衛隊の沖縄配備に反対した。中曾根防衛大臣は、自衛隊の沖縄配備に反対した。

中曾根防衛大臣は、自衛隊の沖縄配備に反対した。中曾根防衛大臣は、自衛隊の沖縄配備に反対した。中曾根防衛大臣は、自衛隊の沖縄配備に反対した。

奥武山の護国神社を参拝

中曾根防衛大臣は、八日午前十一時、奥武山の護国神社を参拝した。中曾根防衛大臣は、奥武山の護国神社を参拝した。中曾根防衛大臣は、奥武山の護国神社を参拝した。

回長會は、米軍戦争犠牲者の慰霊のため

回長會は、米軍戦争犠牲者の慰霊のため、八日午後六時、那覇市で開かれた。回長會は、米軍戦争犠牲者の慰霊のため、那覇市で開かれた。回長會は、米軍戦争犠牲者の慰霊のため、那覇市で開かれた。

話の卵

「卵」の語は、古くから用いられてきた。卵は、生命の源であり、成長の象徴である。この「話の卵」は、社会の様々な問題や出来事について、鋭く洞察した記事や論評をまとめたものである。読者は、これらの「卵」を通じて、社会の現状や未来について深く考え、行動を起こすことができるだろう。

本誌では、毎月数回、「話の卵」を掲載している。内容は、政治、経済、社会、文化など、幅広い分野にわたる。また、読者の声や意見も積極的に取り上げている。今後も、より多くの読者に有益な情報を提供し、社会の発展に貢献していきたいと考えている。

民主団体 肩すかし



民主団体の抗議活動の様子。政府からの復讐準備にかけつけ、待機中の様子が写っている。

抗議避け場所変更

復帰準備 機動隊周囲固める

【本報記者】復帰準備の進展に伴い、民主団体の抗議活動が激化している。政府は、抗議活動の回避を図るため、機動隊の配置を調整し、周囲を固めている。民主団体は、この動きを強く反発し、抗議活動を継続している。

民主団体の抗議活動は、復帰準備の進展に伴い、ますます激化している。民主団体は、政府の政策を強く反発し、抗議活動を継続している。政府は、抗議活動の回避を図るため、機動隊の配置を調整し、周囲を固めている。民主団体は、この動きを強く反発し、抗議活動を継続している。

民主団体の抗議活動は、復帰準備の進展に伴い、ますます激化している。民主団体は、政府の政策を強く反発し、抗議活動を継続している。政府は、抗議活動の回避を図るため、機動隊の配置を調整し、周囲を固めている。民主団体は、この動きを強く反発し、抗議活動を継続している。

民主団体の抗議活動は、復帰準備の進展に伴い、ますます激化している。民主団体は、政府の政策を強く反発し、抗議活動を継続している。政府は、抗議活動の回避を図るため、機動隊の配置を調整し、周囲を固めている。民主団体は、この動きを強く反発し、抗議活動を継続している。

型通りの戦跡巡拝

中曾根 黎明之塔などに花輪

中曾根長官は八日、赤崎町と座間市の遺跡巡拝視察を終、午後四時十五分、臺北六ツカに先導され、臺北に到着。同日午後、赤崎町と座間市の遺跡巡拝視察を終、午後四時十五分、臺北六ツカに先導され、臺北に到着。同日午後、赤崎町と座間市の遺跡巡拝視察を終、午後四時十五分、臺北六ツカに先導され、臺北に到着。



黎明之塔に花輪をささげる中曾根長官(右)と赤崎町長(左)

記者席

記者席の問答。中曾根長官の記者会見。記者：中曾根長官、ご来台は、ご苦労な旅だったかと。中曾根：はい、ご苦労な旅です。記者：台湾の現状について、お聞かせいただけますか。中曾根：台湾の現状は、自由民主主義の発展を遂げつつあります。記者：中国共産党の台頭について、どうお考えですか。中曾根：中国共産党の台頭は、台湾の自由民主主義を脅かす可能性があります。記者：台湾の国際的地位について、どうお考えですか。中曾根：台湾の国際的地位は、自由民主主義の発展を遂げつつあります。

中曾根元帥「農民世論」を「かつ」

中曾根元帥の記者会見。中曾根：農民世論は、台湾の自由民主主義の発展を遂げつつあります。記者：農民世論の重要性について、どうお考えですか。中曾根：農民世論の重要性は、台湾の自由民主主義の発展を遂げつつあります。記者：農民世論の発展について、どうお考えですか。中曾根：農民世論の発展は、台湾の自由民主主義の発展を遂げつつあります。

は沖縄の事情から、沖縄県庁や関係機関の視察を兼ねての訪問である。沖縄県庁は、沖縄の現状について、詳しく説明した。記者：沖縄の現状について、詳しく説明いただけますか。沖縄県庁：沖縄の現状は、自由民主主義の発展を遂げつつあります。記者：中国共産党の台頭について、どうお考えですか。沖縄県庁：中国共産党の台頭は、沖縄の自由民主主義を脅かす可能性があります。

反対は常識的考え

主席、中曾根発言で語る。中曾根長官の記者会見。中曾根：農民世論は、台湾の自由民主主義の発展を遂げつつあります。記者：農民世論の重要性について、どうお考えですか。中曾根：農民世論の重要性は、台湾の自由民主主義の発展を遂げつつあります。記者：農民世論の発展について、どうお考えですか。中曾根：農民世論の発展は、台湾の自由民主主義の発展を遂げつつあります。

フツネ

自衛隊反対は世論でない

中曽根長官、主席発言に反論

方針通り沖縄進出 県づくり、基地前提に

ワハム在日米軍司令の約款で七日発布した中曽根防衛庁長官は三日の日、五十二億円を要求、施設稼働開始まで三百千人を遣送する大きな本程を終え、八日午後六時四十分、那覇の自衛隊司令部で記者会見し、中曽根長官は痛切に先を急ぎ進出を行われた記者会見で、沖縄の軍事基地は建設の重要な機能としてあり、沖縄県の建設と今後の方針はこれと密接な関係がある。自衛隊の配備は立法府も決断してあり、沖縄県民がこれに反対して、と云わぬ、沖縄が傷つけられ、自然環境が破壊される。県民の健康に被害を及ぼす。中曽根防衛庁長官が那覇空港で、冒頭とあり、行われた記者会見で発言した第一、「今回、米軍の約款を米軍に」



「自衛隊反対は世論でない」と記者会見で語る中曽根防衛庁長官(那覇空港記者会見)

「米軍の約款を米軍に」と記者会見で語る中曽根防衛庁長官(那覇空港記者会見)

「自衛隊反対は世論でない」と記者会見で語る中曽根防衛庁長官(那覇空港記者会見)

フク

中曽根発言 軍国への姿勢暴露 民主団体はすべて反発

0期 10月9日 金曜日

中曽根防衛庁長官が那覇空港で記者会見し、自衛隊の配備は建設の重要な機能としてあり、沖縄県の建設と今後の方針はこれと密接な関係がある。自衛隊の配備は立法府も決断してあり、沖縄県民がこれに反対して、と云わぬ、沖縄が傷つけられ、自然環境が破壊される。県民の健康に被害を及ぼす。中曽根防衛庁長官が那覇空港で、冒頭とあり、行われた記者会見で発言した第一、「今回、米軍の約款を米軍に」

話の卵

「卵」は、卵の殻を破ると、中身が出てくる。中曽根防衛庁長官の発言は、自衛隊の配備は建設の重要な機能としてあり、沖縄県の建設と今後の方針はこれと密接な関係がある。自衛隊の配備は立法府も決断してあり、沖縄県民がこれに反対して、と云わぬ、沖縄が傷つけられ、自然環境が破壊される。県民の健康に被害を及ぼす。中曽根防衛庁長官が那覇空港で、冒頭とあり、行われた記者会見で発言した第一、「今回、米軍の約款を米軍に」

民主団体はすべて反発。中曽根防衛庁長官の発言は、自衛隊の配備は建設の重要な機能としてあり、沖縄県の建設と今後の方針はこれと密接な関係がある。自衛隊の配備は立法府も決断してあり、沖縄県民がこれに反対して、と云わぬ、沖縄が傷つけられ、自然環境が破壊される。県民の健康に被害を及ぼす。中曽根防衛庁長官が那覇空港で、冒頭とあり、行われた記者会見で発言した第一、「今回、米軍の約款を米軍に」

中曾根訪米もなしたもの

「中曾根訪米もなしたもの」という見出しは、中曾根元首相の訪米が、沖縄問題に対する日本の姿勢を示している。中曾根氏は訪米中に、米政府と緊密な関係を築き、沖縄問題の解決に向けて努力を怠らなことを示した。この訪米は、日本の外交政策における重要な一歩と見られる。

自衛隊進出強引に迫る

今後の革新運動に影響



沖縄訪問の感想を記者団に語る中曾根防衛庁長官。右が中曾根防衛庁長官、左が記者。

本政府は沖縄の七年返還を機に、自衛隊の進出を強引に進めようとしている。これは、沖縄の自治と革新運動に大きな影響を及ぼすであろう。自衛隊の進出は、沖縄の防衛力を強化する一方で、沖縄の自治権を侵す恐れがある。中曾根防衛庁長官は、この問題を慎重に検討する必要があると述べている。

中曾根防衛庁長官は、記者団に「沖縄問題の解決には、日米両国の協力が必要である」と述べた。彼はまた、「自衛隊の進出は、沖縄の防衛と日本の安全保障のために必要である」とも述べた。

中曾根防衛庁長官の訪米は、米政府と緊密な関係を築き、沖縄問題の解決に向けて努力を怠らなことを示した。この訪米は、日本の外交政策における重要な一歩と見られる。

官廳合流

アメリカ局長

参事官

北米一課長

秘密標記(赤色)

秘

() 第 218 号

昭和 45 年 10 月 19 日

外務大臣 殿

在 準備委代表事務
高 瀬



防衛省 警務部 初任内記

要約	(件名)
首席事務官	中曾根防衛庁長官の来沖について(詳報)
渉外調査	引用公・電信 日付・番号 10月3日付貴電米北第210号
漁業	標記の長官来沖の際の現地事情を中心として
航空	三木2佐が取まとめた報告3部参考迄別添
科学協力	送付する。
連絡調整	
調査	
カナダ	
庶務	

付添添付 付添空便(行) 付添空便(DP) 付添船便(貨) 付添船便(郵)

本信送付先:
本信写送付先:
配付先:



GA-3-1

2488

在外公館

45.10.19 秘

中曾根防衛庁長官の来沖について(詳報)

1. 要旨
長官来沖は米軍の招待により行われ、対住民顧慮上種々の問題があつたが、関係諸機関等の協力により、円滑に実施され、特に自衛隊の沖縄配置に関し、住民に関心を喚起する面で大きな成果を収め得たものと思はれる。

以下、その視察内容及び諸会談については別にゆづりものとす。(1) 管備 (2) マスコミ (3) 慰霊 (4) 屋良 主席との会談 (5) 隊友会 (6) 現地日本政府等の相互の関係 (7) 通信、につき、問題点を要約したい。

2. 管備
① 情勢判断及び状況の推移
ア. 9月末~10月5日朝までは、若干の混乱はあつても、
④で事態を收拾しうべしとの判断であつた。
イ. 10.5昼、琉球管備及び米民政府との合同管備会議の席上、①約2000名(内約200名は過激派学生)が抗議行動を行う。②米軍が憲兵をもって、全管備を担当する。との考えが明かとなり、俄かに、情勢判断を改め、当日の管備は、最大限の管備体制をとらねばならぬ。ただし、対住民顧慮上、基地外での管備は、ハトカーをはじめ全て、④が実施することが適当であるとし、米側に強く申し入れ、了解を得た。

秘

7. 10.5夕、琉管との細部打合せの結果、不測の事態のあることを予期し、不測の準備を講ずることとし、特に①ナハ空港到着時 ②準備委員会から琉球政府へ向う間 ③琉球政府から民政府へ向う間を最重視し、各種行動方針につき検討した。

エ. 10.6(前日)

復帰協から「各組合総一行動により、長官に抗議文を手渡したい」との申入れが準備委員会に対しなされた。防衛方と協議の上、「準備委で、代理(防衛局長)が受領することとし、その代り、抗議行動は齊々とする旨、喜屋武会長の確約(紳士協定)を得た。

ただし、本件は、佐藤総理訪沖の際にも実施したが、下部房組の突上げにより、結局守られなかった教訓にも考み、先方に対し、き然たる態を以て接することとし、混乱を招かないよう強調した。

オ. 10月7日(当日)

(1300 長官到着直前の状況)

① 復帰協(総一) 900人、学生(中校、華マシ) 120人

② 日思会 100人

③ 隊友会 25人

④ ナハ市署長と管衛本部長とし、6コCo.

600人(管衛車、大楯、管棒、ヘルメット着用)

空港ターミナル前で集会、左右の間に小ゼリ合いがあつたが、大きな混乱無し。

(注: ④の力に完全に厚した)

る

(1545頃の状況)

長官が、グラハム中将与ランパート中将与の会談時予定の変更(①屋良主席との会見後、記者会見を行いたい ②護国神社、摩文仁を参拝したい)を申し入れ、米側が受諾し、実行計画を急遽変更、その結果管衛計画も変更することとなる。

(1810頃の状況)

④より、抗議文手交を撤回するとの申入れあり。

これは、執行部が下部の突上げ下より、説得がきかず、屋良主席と会談時、直接行動に出ることとなつたものであろうとの判断で、④としては、明日は相当荒れるであろうとの意見となる。

(2310頃の状況)

米側招宴後、長官に対し、管衛状況を報告す。

長官は①抗議文は受領してよい、②いかなる事態になつても、琉球政府には自ら出向く旨、明言する。

カ. 10月8日(才2日目)

(0810頃の状況)

④は、昨夜の会議の結果、本日、高教組等200人、学生100人をもつて、準備委又は琉球政府で直接抗議行動に出ることとした。

④は、琉球政府構内に④を事前に配備するよう申請したが、従来の経験に考み、主席の許可は得られないであろうと判断し、交通整理を以て、1コ大隊200名を琉球政府周辺に、又、1コ中隊と準備委に、1コ中隊を当初護国神社に配置した。

3

(0940~1005頃の状態)

この頃、長官は、ナハタB、ナハWA、ナハ港を視察中であつたが、前記情報及び琉球政府内における約70名の反戦青毒の過激グループの動く兆候があり、主席は、事態の悪化を憂へ、0940自ら準備委にお向く事を決心し、渉外部長として、準備委に電話で申込み、大使はこれを良諾、主席は1000琉球政府を登し、1005準備委に到着す。
(この間、長官は、護国神社に参拝)

(1040~1200頃の状態)

主席の去を察知した(対)70名は、1040琉球政府を出発、以後約100名の増援を得て、1100頃から、準備委付近の公道を占拠し、スピーカーで抗議宣伝を繰返す。

(対)は、1130これを、道交法違反で排除、この際、房組員1名が軽傷、(対)は更に激昂し抗議。

(対)は、この間「外張り」配備で、(対)を1歩も近づけず、準備委の屋上から、僅かに赤旗を見、スピーカーの声を聞く程度であつた。

1203、全ての会談及び記者会見を終えた長官は、準備委を登し、民政府に向う。デモ隊も、これに伴い自然解散す。

(1200~1715の状態)

長官は、ヘリでホワイトビーチ、ヨザ岳、次で車で摩文仁参拝、以後ヘリでナハ空港着。

(対)は、ハコカー2台で、ヨザ岳-摩文仁道を警護したが、全く無事であつた。

(1715~1940の状態)(最終)

(対)は、3コ中隊、200名をもって、ナハ空港を警備、特に、空港ターミナル内部は、長官待合室(南西航空支店長室)~ロビーの全廊下に、制服、私服と配置し、不測事態に対処したが、抗議行動は折からの雨の影響もあつて、全く行われず、長官は、1931、無事、高陸、今回の警備は終了した。

(2) (対)の勢力

10/7. 6コ中隊 600名 負傷者無し

10/8. 当初 5コ中隊 500名

又刻 3コ中隊 200名

人員輸送用警備車、大楯、警棒、ヘルメット(拳銃及びガスは、携行せず)(放水車をなし)

(注)特別出動手当無し、弁当代1人1日435
逮捕: 2名(公務執行妨害: 学生)

(3) 米MPの状態

米軍は、10/5の警備会議までは、全て米軍の責任として、憲兵及び警備連隊(ガード)をもって、行方予定であつたが、日本側の強い申入れにより、急遽変更し、米軍基地外の警備は、琉球警が実施することとなつた。宿舎は、カテナタB内であつたが、終夜宿舎前にMP2名、近傍道路にMP数名が拳銃、携帯無線機携行して警護に当つた。

尚、日本側警備の際も、米軍CID(私服)2名が終始警護に当たっていた。彼等は、㊦とも連絡良く、旺盛な責任感をもつて、警護に当たっていた。

(4) ㊦ 執行部の統制力の限界。

今回の抗議文手交に関し、㊦は㊦首脳と紳士協定を結んだが、当日、下部の突上げにより撤回した。11月の国政参加直前であり、復帰協の喜屋武委員長が立候補する関係もあり、執行部の統制は十分で無かった。尚、従来も、統制力に欠け、下部のはね上りが強いとの事。

(5) 右翼

当地には、日思会100名、東声会100名がある。今回は、日思会(日本民族思想普及会、会長宮保寺務局長山城)100名が、米軍松下の作業服、海上靴(ジャンプブーツ)ヘルメット(ライナー、正面に10cm x 15cmの日の丸)OD色、の揃いの服装で青色の会旗を先頭に行動した。(旗の柄は素手) 予め、㊦より集会、デモ行進(長官来沖歓迎)の許可を得。1号線より、金橋までデモ行進の後、ターミナルで2時間半にわたり、左翼デモ隊の集会の正面に、一列横隊に並び、その行動を制肘し、時々右翼学生とこぼり合を起した。日思会は腕力屈強かつ、平素マスクミから暴力団連隊との侮向宣伝をうけているので、日思会が前進すれば左翼は逃げ去るといふ状態であった。

(6) 隊友会(別項、参照)

隊友会旗及び日の丸を立て、齊々と行動し、見る人を感動させた。尚、隊友会は予め、米軍及び㊦並びに大使の許可を得ていたもので、空橋内、JAM直前に位置したため、㊦との対決は皆無であった。

3. マスクミ

(1) 当初計画と状況の変化

ア. 当初、東京で米軍と防衛庁との調整の結果、記者会見は、視察終了後の1回のみとされた。

イ. 10月3日、自民党、床次元総務長官が東沖の際、長官の東沖直後やるとも、記者に対しステートメントを定する必要ありとの強い意見あり。

エ. 東京及び米軍と、本件、発表内容も含めて調整することとなった。

ウ. 10月5日 18時

防衛庁より、各関係筋と調整し、長官承認のあったステートメントを電話で連絡あり。

又、別に、同時刻、防衛庁官房広報課長が記者会見の上、長官の日程等を発表された。

エ. 10月6日

上記ステートメントを準備室でタイプ印刷し、米軍にも英文を送付し、記者には、7日0930配布(長官到着まで公表禁止)することとして、準備を終った。

オ. 10月7日 0900

米側(弁務官政指顧問)より、前述ステートメント文中に、ランポート中將の名前を入れて欲しいとの提案あり。既に決裁済、印刷済であったが、長官の羽田 本登前にも修正の件報告し、グラハム中將、ランポート中將、フェアリー民政官の名前が各一回づつ出る件で了承。

直ちに印刷せんとするが、生憎、準備委付近停電にて、ゼロックス印刷できず。

与儀の沖縄事務局に依頼し、タイプ並びで印刷し、1100、記者クラブに伝達する。(これまでの間、記者より再三催促ありたり)

長官がステートメントを読み上げの件についても、記者に説明し納得させること容易ならず。

亦、岸沖縄事務局長の「読みとぐべし」との助言もあつて、曲節があつたが、当初の申し合せ通り、事前配布に止まつた。

カ. 10月7日 1545

来沖後、長官の申出により、屋良主席との会談後、記者会見することとなり、併せて、明朝、護国神社、摩文に参拝の件も、記者クラブに通知。記者団としては、大きき変更にて、驚きを示しつつも、歓迎であり、俄に活気を呈する。

キ. 10月8日 昼の記者会見

しかるに主席との会談場所が突然変更となり、これに伴い、記者会見の場所、時間も変更する。更に、諸会談は、時間が延び延びとなり、このため、11時と通告した記者会見が、1112にきつても、屋良主席との会談が終らず、記者からの強い要求により、次の会談と入れかえて、記者会見を開始す。記者としては、こゝで20分間の会見が出来、満足であつた模様。(夕刊に同ト合う。)

ク. 高沖時の記者会見 計画通り30分間行われ、何のトラブルもなく実施された。

(2) 東京と現地との共同発表

今回の長官訪沖は、8月末〜9月初の甲山系調査の末沖以来、連続長期にわたるキャンペーンである。この間、東京で突入カーチス会談の経緯、長官訪米、長官来沖の発表、特に本登前日に、自衛隊の沖縄配備に関する発表が大規模に行われる等、現地の反響を意識した計画的、主動的な報が行われ、現地では、非常な盛り上がりを見た。

4. 護国神社、摩文に参拝

当初計画では、両方とも入つておかつたので、現地、東京で、米軍と調整したが、主として東京の米軍の事情により、長官到着まで不調であつた。

現地では、住民の特殊感情を考慮し、事務的には、神社参拝と植樹を予めセツトし、長官到着時、米側に申し入れて頂くことにより実現された。

(2) 神社は10分、厚文には15分の短時間であったが、マスコミは、これをしむ「形通りの参拝」として皮肉った面もあるが、各紙とも写真入りで大きくとり上げた点は看過し得ない。

将来は、陸軍海軍及び無名戦士、ひめわり、健児、米軍バフナー中將の碑、現地の特殊性を配慮した参拝を計画されることか望ましいものと思われる。

(3) 経費、神社、玉串料30ドル、植樹20ドル、厚文に、花束、15ドル×3カ所。

5. 屋良主席との会談

① 自衛隊の沖縄配置に対する態度

10月7日午前、復帰協及び教組、公労協代表は、屋良主席を訪ね、明日主席が長官と会談する際「自衛隊の沖縄配置に反対するよう要請し、これに対し、主席は、「自分の判断で行動する」旨返答(秘書官談)決趣。

新聞は、「わたしは、泉民の意思に立脚して、自衛隊の沖縄配置に反対せざるをえない」

と述べた旨発表しているが、実際には、主席は「自衛隊の配備については、泉民の中には勇ひ戦争にまきこまれるおそれもあるとの不安もあるので、泉民のハイフン役である主席としてこの泉民の意思を伝える。泉民の気持ちで、やってみよう」と述べたようである。

なお、沖縄連絡官の表敬訪問時及び来沖せる海上自衛隊今井梅持補の表敬訪問時、主席は、「1つの事が定つて、これを実現するのに2年も3年もかかる。しかるに若い者の中には、即時返還とか、全面撤去とかいつて、中々理解してくれない」と苦衷の程を漏している程である。

② 長官との懇談

長官は、7日夕の、ランハート中將、高瀬大使共催のカクテルパーティにおいて、屋良主席に対し、個別に、約20分程、「自衛隊は旧軍と異なる。災害派遣、医療支援、部外工事、音楽隊、スポーツ支援等、各種サービスで非常に国民に喜ばれている。」「自分の国を自分で守るのは当然、沖縄を守るため返還後自衛隊をもつて来るのは当然」と説得、主席はこれに対し、合槌をうちつつ、冷静かつ好意的に傾聴せる様子がうかがえた。

③主席は、長官来沖時の出迎え、米軍基地内における米軍主催のレセプション、離沖時の見送り(1930)に自主的に出席又秘書官と連絡官を通じて長官に「漆器」の土産を贈る等或は、折から来沖停留中の護国艦「あまつかぜ」のレセプション(ホフ付ビーチ)に出席の返事(実際には、長官がナハ空港高陸が遅れたため、ナハから1丸30mを要するホフ付ビーチには間に合わず中止)をし、以後、今井海将補に対し、この件「全く地意の無かつたこと、長官見送りが遅くなったためである」ことを説明する等、個人として自衛隊に対し十分に誠意を示したいとする様子がかうかがえた。

④長官の離沖時における記者会見

長官は「屋長主席は、私の最も尊敬する一人である。特に果敢党として、一党に偏しない立場を貫こうとされている点に敬意を表したい。誠意をもって話し合えば、必ず納得は得られると思う」と、記者団に述べた。主席秘書官談によれば、主席の長官に対する印象は、非常に良かった。

(注: 秘書官は、連絡幹部に、主席訪問の機会を作る等、自衛隊に対し、好意的配慮を払っている)

6. 隊友会

①長官来沖歓迎準備

10月3日、隊友会は、ナハ市内で総会を開催し、来沖歓迎を計画す。(本総会は、予め創立1周年に当り予定せるもの)

以後、米高等弁務官、高瀬大使、琉球警察本部等の了解を得て、長官到着時、ナハ空港内に入場(一般は禁止)の上、歓迎することとなる。

②長官来沖時

10月7日、1000 時、ナハ空港内に集合。

1320頃、長官機到着予定位置に、隊友会旗及び日の丸を先頭に25名、2列横隊に整列。近傍に、ランハート中尉、屋長主席をはじめ、カメラマン、記者等集り、隊友会につき種々質問あり。

ランハートは、特に、隊友会長に握手を求め、隊員に会釈す。(ランハートには、当地の隊友会につき、予め説明済み)

1330、長官到着、歓迎陣に取囲まれたが、出迎えの高官に挨拶の後、ランハートの先導で、先ず隊友会の前に停止、会旗をもって、敬礼、長官は全員に握手さる。(隊員は極度に感激せる越)

③石嶺会長は、ランハート中尉の招きにも招待さる。

7. 現地日本政府等の相互の関係

(1) 現地には①復帰準備委員会日本国政府代表事務所
②沖縄事務局 ③琉球政府 があり。④は外務
⑤は内政 ⑥は内政 をそれぞれ実施している。

(2) 警備については、米民政府当局から、③の中の琉
球警備に対して指示があり、これに対し、④の中の
法務課(警備出身の課長)及び警備出身の参事
官が指導と助言を行う。

④の中の警備出身の参事官は、④の一等書記官を
兼務(併任)しており、大使を補佐する。

④には、自衛隊の〇〇が配属され、今回の長官来
沖について、種々準備に当り、④の総務参事官
が、大使の命を受けて、米高等参事官府と、長官日程
に関し細部調整に当り、実施の大部を指導。

従って、今回の警備に当り、日程に基ずる細部警備計
画の立案、変更、実施は、④⑤⑥の案を調整
の下に実施され、一貫した方針の下に、米軍当局と
折衝して、円滑に、大過なく、警備を終了し得た
ものである。

(3) 長官の慶文に巡拝は、④の中の総務課が担当し、配車
花束等の準備を行い、案内、説明は、事務局次長が
実施し、これとの日程の調整は、④が行なった。

8. 通信

(1) 長官来沖に関する外務省公信は、10月3日付(目的、
日程、希望)及び10月5日付(日程追加、会談
場所、メッセージ等)
長官来沖に関する防衛省官房長からの沖縄北方
対策庁長官あて依頼文書は、9月29日付(目的、
随員名)で、沖縄事務局宛信は、10月7日(到着日)
であった。

(2) この間の通信連絡は、準備室にある警備電話を
使用して、主として防衛省官房総務課長及び
渉外参事官室と実施した。

(3) 米軍からは、逐次、高等参事官政治顧問から、
調整事項(日程、細部)の連絡を、準備室、総括
参事官あて受領した。

(4) 警備情報(抗議等に関する)は、準備室にある警備電
話を使用して、陸幕第2部保全班あて報告した。
なお、来沖間の速報も、同様報告した。

9. 余談

ランバート中将招宴席上、長官から、3連絡官に対し、
「連絡官の主任務は、自衛隊の広報であり、米軍との
連絡は従である」との談話あり、来沖後、高瀬大使
からも、長官の要望として、同上指示があった。

報告

手印
手印
手印

アメリカ局長

参事官

北米第一課長

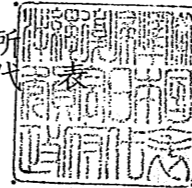
秘密標記(赤色)

第 230 号

昭和 45 年 10 月 22 日

外務大臣 殿

在準備委代表事務所
高瀬 代表



防所
施設
外務
省
10/24

要処理
常務事務官
渉外調査
業務
航空
科学協力
連絡調整
調査
力夕夕
局庶務

(件名)

中曾根防衛庁長官訪沖後の新聞投書
欄記事の送付について

引用公・電信
日付・番号

10月3日付貴電米北1才210号

標記関係記事と部別添送付する。

付録添付 付録空便(行) 付録空便(DP) 付録船便(貨) 付録船便(郵)

本信送付先:

本信写送付先:

配付先:



GA-3-1

2487

在外公館

中曾根防衛方長官訪沖後の新聞投書欄

4.10.11 疎打

中曾根防衛方長官の訪沖が、沖縄の防衛に与える影響を、新聞の投書欄から探る。

「琉球新報」の投書欄には、中曾根防衛方長官の訪沖をめぐって、多くの意見が寄せられている。その中でも、沖縄の防衛強化を求める声が多く聞かれる。

あつちこ

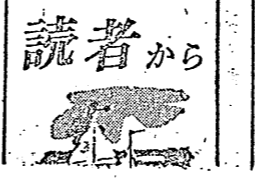
中曾根防衛方長官の訪沖が、沖縄の防衛に与える影響を、新聞の投書欄から探る。中曾根防衛方長官の訪沖は、沖縄の防衛に大きな影響を与えると思われる。特に、沖縄の防衛強化を求める声が多く聞かれる。これは、沖縄の防衛は日本の防衛に不可欠であるという認識が広まっているからである。また、中曾根防衛方長官の訪沖は、沖縄の防衛に与える影響を、新聞の投書欄から探る。中曾根防衛方長官の訪沖は、沖縄の防衛に大きな影響を与えると思われる。特に、沖縄の防衛強化を求める声が多く聞かれる。これは、沖縄の防衛は日本の防衛に不可欠であるという認識が広まっているからである。

琉球新報 4.10.14 疎打

立ちあがれ沖繩の母親たち

今宵の夜は、沖縄の母親たちが立ちあがり、抗議の声を上げた。それは、中曾根防衛方長官の訪沖をめぐっての抗議活動であった。沖縄の母親たちは、中曾根防衛方長官の訪沖が、沖縄の防衛に与える影響を懸念している。特に、沖縄の防衛強化を求める声が多く聞かれる。これは、沖縄の防衛は日本の防衛に不可欠であるという認識が広まっているからである。また、中曾根防衛方長官の訪沖は、沖縄の防衛に与える影響を、新聞の投書欄から探る。中曾根防衛方長官の訪沖は、沖縄の防衛に大きな影響を与えると思われる。特に、沖縄の防衛強化を求める声が多く聞かれる。これは、沖縄の防衛は日本の防衛に不可欠であるという認識が広まっているからである。

4.10.14 中曾根

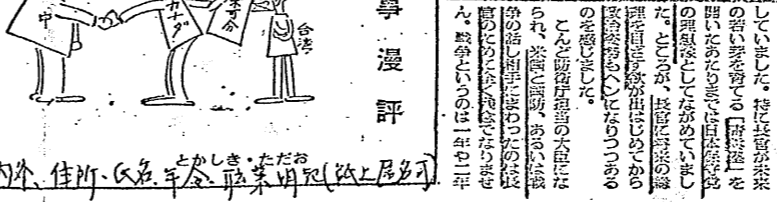


軍国化に反対

中曾根防衛方長官の訪沖は、沖縄の防衛に大きな影響を与えると思われる。特に、沖縄の防衛強化を求める声が多く聞かれる。これは、沖縄の防衛は日本の防衛に不可欠であるという認識が広まっているからである。また、中曾根防衛方長官の訪沖は、沖縄の防衛に与える影響を、新聞の投書欄から探る。中曾根防衛方長官の訪沖は、沖縄の防衛に大きな影響を与えると思われる。特に、沖縄の防衛強化を求める声が多く聞かれる。これは、沖縄の防衛は日本の防衛に不可欠であるという認識が広まっているからである。

4.10.15 タイムズ

専漫評



中曾根防衛方長官の訪沖は、沖縄の防衛に大きな影響を与えると思われる。特に、沖縄の防衛強化を求める声が多く聞かれる。これは、沖縄の防衛は日本の防衛に不可欠であるという認識が広まっているからである。また、中曾根防衛方長官の訪沖は、沖縄の防衛に与える影響を、新聞の投書欄から探る。中曾根防衛方長官の訪沖は、沖縄の防衛に大きな影響を与えると思われる。特に、沖縄の防衛強化を求める声が多く聞かれる。これは、沖縄の防衛は日本の防衛に不可欠であるという認識が広まっているからである。